

広島県中小企業団体中央会 2019年2月分情報連絡一覧表

食料品

●食料品

中国醤油醸造協同組合

2月の出荷量は前月比25.9%増加、前年同月比17.6%増加となり、売上高は前月比20.3%増加、前年同月比16.1%増加となった。

木材・木製品

●木材・木製品

広島県北部国産材加工協同組合

中国経済の失速と米中経済戦争の影響により、梱包材業界の荷動きが停滞気味である。

丸太の供給が過剰で、原木市場は未整備の丸太で溢れている。価格も弱含みで推移するものと思われる。

木材業界のトラック輸送について、過剰積載の是正が厳格化され、結果として荷主の運賃負担額が増加し、収益を悪化させている。

福山木材協同組合

1、2月の動きは鈍かったが、年度末に向けて良くなる見込みである。

広島県木材協同組合連合会

<全国>

- ・平成31年1月の全国の住宅着工戸数は67,087戸で前年同月比1.1%増加
- ・季節調整済年率換算値では87.2万戸(前月比9.3%減少)
- ・利用関係別では、持家は20,925戸で前年同月比3.3%増加、貸家は24,776戸で前年同月比12.3%減少、分譲住宅は20,911戸で前年同月比19.8%増加
- ・木造住宅の着工数は38,121戸で前年同月比2.2%減少となった
- ・住宅着工の動向については、前年同月比で2ヵ月連続の増加となった

<広島>

- ・広島県内の1月の着工戸数は1,221戸で前年比1.6%減少、このうち持家は388戸で1.8%減少、貸家は432戸で前年比6.9%増加、分譲は401戸で前年比9.1%減少
- ・県全体の住宅着工動向は前年同月比で5ヵ月連続の減少となった
- ・地域別では広島市が着工戸数656戸で0.8%減少、東広島市が90戸で3.2%減少、廿日市市が77戸で17.2%減少、呉市が35戸で20.5%減少の一方、福山市が249戸と19.7%増加と地域ごとにばらつきがある
- ・昨年10月以降のプレカットの好調な受注にも陰りが見え、年度末納期で繁忙期が重なり、大工不足も深刻である。現場の遅れから構造材の実需も伸び悩み、大手外材製材業者の製材業からの撤退による資材供給に対する懸念や運送業の人手不足による配送ネックの問題もあり地域・企業間での繁閑差が続いている

印刷

●出版・印刷・同関連

広島県印刷工業組合

年度末にかけて仕事量が増加している。用紙の確保と印刷後の後加工、特に製本工程は製本会社が減少していることもあり、スケジュール管理が厳格になってきている。

化学・ゴム

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

特に変化はない。

売上予測は変わらないが、消費税増税後の下期以降に景気減速が予想されるため、経営環境はより厳しくなることが予想される。

凡事徹底して冗費は省き、足許をしっかりと固めておかなければならない。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

自動車関連の売上は、順調に推移している。全体的に売上は、現状維持の状況である。

今年は不安定要因が多く、先行きが懸念される。

窯業・土石製品

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

出荷状況(24工場)

31年2月 2,771m³ (前年比3.74%増加)

31年1月 2,387m³

30年2月 2,671m³

鉄鋼・金属製品

●鉄鋼業

広島県鋳物工業協同組合

鋳物ユーザー(車、船舶、機械器具等)の景況感に左右されるため、受注状況にもばらつきがあり、今後の見通しも各業界によって異なる。

靱鉄鋼協同組合連合会

平成30年7月豪雨で片側交互通行になっていた県道が先月末復旧し、団地内を通行する車両が幾分減少すると思われる。

建築向け鋼材(切り板)が減少傾向にある。五輪向けは終わり(関西までしか仕事が回ってこなかったとも言われている)大阪万博も後のことを考えると軽量鉄骨が主流であると思われるため、期待出来ない。

一般機器

●一般機械器具

出島工業会協同組合

先月同様、今月も特に大きな変化はない。

組合においては、役員の高齢化、世代交代が課題である。

広島県東部機械金属工業協同組合

今月は、スポット受注による売上増加等により、前月比2.2%増加、前年同月比57.0%増加となった。昨年より好況感がある。

電気機器

●電気機械器具

広島県東部機械金属工業協同組合（電気機械器具）

今月の売上は、輸出の受注が減少傾向にあることと、国内の装置向け部品が低調のため、前年同月比5.0%減少した。前月比は特に大きな変化はない。

人を募集しても集まらない。残業規制を望んでいない労働者もいるため、残業規制への対応に苦慮しそうである。

取引先からはコストダウン要請があるが、人件費の上昇を吸収しきれない状況にある。

最低賃金が人件費上昇の要因であり、上昇分を吸収しきれず経営を圧迫している。

輸送用機器

●輸送用機械器具（自動車）

東友会協同組合

組合員の業況は、ビジネス依存度の高い主要顧客（マツダ）の下記業況に比例している。

- ・1月の国内自動車販売台数は全需が479千台、前年同月比1.2%増加と2ヶ月連続の前年超え。登録車は前年同月比1.3%増加と2ヶ月連続の前年超え、軽自動車は前年同月比で1.0%増加と8ヶ月連続の前年超え。マツダ車も6.5%増加と3ヶ月振りの前年超え
- ・アメリカの1月の全需は1,382千台で前年同月比0.1%増加と2ヶ月連続の前年超え。マツダ車は同15.2%減少と7ヶ月連続の前年割れ
- ・欧州の1月の全需は1,339千台で、前年同月比5.1%減少と5ヶ月連続の前年割れ。マツダ車も同6.3%減少と2ヶ月振りの前年割れ
- ・中国の1月の全需は2,638千台で、前年同月比6.1%減少。マツダ車は同32.7%減少と9ヶ月連続の前年割れ
- ・上記各地域の状況下、マツダ車の1月の海外販売合計台数は107千台、前年同月比16.3%減少と5ヶ月連続の前年割れ
- ・マツダの1月の輸出動向については、輸出台数は前年比0.2%減少と4ヶ月振りの前年割れ
- ・マツダの1月の国内生産台数は、前年同月比18.3%増加と4ヶ月連続の前年超え

●輸送用機械器具（造船）

中国地区造船協議会

県内2,500総トン以上の平成31年2月の船舶建造許可実績は2隻203,700総トン(前月5隻170,200総トン、前年同月2隻164,200総トン)であった。なお、内訳は全てが貨物船で、このうち貨物船が1隻、油槽船が1隻であった。

(一社) 中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化はない。

卸売業

●卸売業（総合）

協同組合広島総合卸センター

売上は横ばい。人件費、物流費等が上昇傾向、燃料費の値下げは一服しており、収益面は前年同月比減少した。

「資材関連」においては、公共工事、新設住宅着工戸数は前月比、前年同月比では増加したものの、収益状況は前年同月比減少となった、

「雑貨」においては、暖冬の影響もあり、季節商品の動きが鈍く厳しい見通しである。

「食品」においては、前年並みで推移する見通しである。

「繊維」においては、厳しい状況が続いている中、暖冬の影響から冬物の動きは鈍く、厳しさが更に強まっている。

最低賃金の上昇や近隣商業施設との人材獲得競争により賃金コストが上昇、人手不足感も継続している。人手不足感から新たな仕事を受けることができない状況も発生している。

足下の売上は横ばいで推移している。収益環境は人件費、配送費の上昇分を燃料費の引き下げ分ではまかないきれず、収益状況は悪化傾向にある。

●卸売業（電設資材）

広島県電設資材卸業協同組合

広島県の12月の住宅着工戸数は、前年比10.2%減少、内訳としては、持ち家前年比変化なし、分譲は同21.0%、貸家は同24.6%減少となった。

全体では、大幅な減少となったが、持ち家は3ヵ月連続の増加となった。今年度も残り1ヵ月となり、民間物件は好調だが、官公庁物件は減少している。

●卸売業（畳・敷物）

広島県畳製品商業協同組合

畳表の製造・製織主産地の熊本県八代においても、消費減退から価格が低下している。市場の相場も弱含みの状態で推移している。広島県産についても、生産量が少ないため横並びとなっているが販売は堅調に推移。一方、JAS(中国産)は前年をやや下回る実績である。中国産畳表は、日本国内の需要が低迷していることから弱含みの展開である。化学表は、堅調に推移している。消費者のニーズにマッチしているものと思われる。

総じて、天然素材を使用した畳表のメリットが若者世代に認知されていない、分譲やハウスメーカーの建築コスト面からの思惑に消費者が乗ってしまっているのではないかとと思われる。

小売業

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

鮮魚小売は相場高値により販売価格、売上ともに増加した。

青果小売は相場底値により販売価格が減少し、前月に引き続き売上は減少傾向にある。景況感を反映し、需要が鈍く在庫も増加している。

生鮮業界全体の景況感は、徐々にではあるが着実に下降している。大都市圏と地方圏の格差、大手と中小企業の格差も感じられる。

協同組合三次ショッピングセンター

2月は天候に恵まれ客数が落ち込まなかったため、売上は例年並みとなった。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

今月の販売実績は前年同月比3.7%減少となった。商品別では、薄型テレビ前年同月比3.4%増加、冷蔵庫同8.6%減少、洗濯機同3.9%減少、IHクッキングヒーター同2.3%減少、電気温水器同8.4%増加、エアコン同10.8%増加となった。

●その他の小売業（燃料）

広島県石油商業組合

先月に引き続き今月も仕入価格の上昇分を販売価格に転嫁できない事業者も多い。

商店街

●商店街（各種商品小売業）

呉本通商店街振興組合

呉市内で60年近く営業している老舗スーパーが営業譲渡を理由に3月15日までに全7店舗を閉店する。大型スーパーとの競合が激しく老朽店舗の改修など設備投資が難しく事業継続が困難であるとの報道もあり、約200人の従業員は全員解雇の予定である。当商店街には別のスーパーが1店舗あり、新たな購買層の獲得を期待できる見通しである。

元健康食品販売店にフィットネススタジオが開店した。女性と子供をターゲットとしており、来街者増に期待している。

広島金座街商店街振興組合

暖冬の影響により、売上が減少している。

サービス業

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

車検台数は前月比36.0%増加、前年同月比8.3%増加。車検場収入は前月比35.0%増加、前年同月比7.7%増加。重量税・登録印紙の売上は前月比17.8%増加、前年比7.0%増加となっている。

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

年度末に入り、売上増加が見込まれる。

仕事はあるが、人材不足により工事に遅れが生じている。また、加工物等の納期が間に合わない。

●警備業

広島県警備業協同組合

人手不足が続いている。

●工事業

福山地区電気工事業協同組合

今月の工事受付件数は、前月比0.3%増加、前年同月比10.7%減少と平成29年度、28年度と比較して激減した。電気工事作業従事者（特に若手人材）が不足しているため、電気工事業界が停滞しているように感じられる。国等へも人手不足に向けた対策をお願いしたい。

人口減少に伴い新築は今後も伸び悩むものと思われる。リフォーム、リノベーション等補助金の増額や、制度を分かり易くするなどの努力も必要ではないか。

神辺建設業協同組合

年度末を迎え、公共案件の発注は7月豪雨関連の災害復旧工事の繰越案件が多く、新年度も引き続き工事の受注量が見込める。

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目について、今月は前月比8.6%増加、前年同月比18.6%減少、前年累計費は2.3%減少と累計比で再び前年比減少となった。1、2月は繁忙期ということもあり組合員は大変多忙を極めているが、ラベル売上の観点からは伸び悩んでいる。

今年度も残り1ヵ月を切って前年比割れの公算が大きい。前年比3、4%減少の見込みである。

運輸業

●道路貨物運送業

松永地区トラック事業協同組合

2月の売上高は、前年同月比では大きな変化はない。前月比は稼働日数の関係で多少増加となった。

軽油価格が高止まりしている。

ドライバーの拘束時間、時間外労働の問題もあり、今後、長距離運行は減少する傾向にある。

来月は年度末であり、貨物輸送量が増加することを期待している。

広島輸送ターミナル協同組合

今月の売上は、前月より稼働日が多く増加した。

ドライバー不足と拘束時間の短縮によりますます車輛が不足しており、残荷が発生するようになった。運行時間の短縮により、1台当たりのトラックの収益が減少している。

協同組合尾道地区総合トラックセンター

売上高、収益状況は前月比、前年同月比とも大きな変化はなかった。

燃料価格は来月に向けて上昇基調である。

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

船員の高齢化が進んでいると同時に若年船員が育っていないため、船員不足である。

その他

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

今月の売上は、前月比増加となった。先月は公的評価（地価公示、相続税路線価）の関係で一般評価が減少していたためである。前年同月比については特に大きな変化はない。年度末で一般評価が増えているものの、業界的には横ばいである。

地価は依然として上昇傾向にある。特に平地部で供給土地が少なくなっている分不動産業者間の競争で土地仕入値が高騰している。